

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月9日作成)

小委員会名	建材熱性能の実験・実測・評価規準小委員会	
主査名	萩原伸治	
就任年月	2023年4月	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：大岡龍三 主査名：秋元孝之
設置期間	2023年4月 ～ 2025年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建材熱性能を研究する研究者を対象として主に外壁を構成する様々な建築材料の熱性能評価に関する実験・実測・評価手法の技術的な規準を定める「日本建築学会環境基準 (AIJES)」を刊行することを目的とする。</p> <p>初年度： ・『日本建築学会環境基準 AIJES 建材熱性能の実験・実測・評価規準・同解説』原案を作成する。 ・内部査読を行う。</p> <p>2年度： ・シンポジウムを開催する。 ・パブリックコメント募集を実施する。 ・関連運営委員会査読承認を得て原稿を完成・刊行し、講習会を開催する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：萩原伸治 (建材試験センター) 幹事：齊藤孝一郎 (YKK AP) 委員：児島輝樹 (YKK AP), 永田明寛 (東京都立大学), 木下泰斗 (日本板硝子), 佐久間英二 (ニチベイ), 高田和規 (エクセルシャノン), 馬淵賢作 (建材試験センター), 野中俊宏 (東京理科大学), 森太郎 (北海道大学), 糸井川高穂 (旭化成ホームズ)	
設置WG (WG名：目的)		
2023年度予算	5,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項目	自己評価
委員会開催数	2回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 若干計画より遅れているが、概ね予定通り活動を実施中
委員会活動の問題点・課題	特になし

*中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2023年度 小委員会活動 自己評価
(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2023年4月から、刊行に向け小委員会を立ち上げ、各担当者が執筆作業を概ね終了した状況にある。</p> <p>本文は簡潔にまとめ、方法の手順および実例などを付録へ記載し、読者が理解しやすい体系とした。</p> <p>内部査読用に全体調整を行い、これから(2024年2月から)内部査読を実施する予定である。</p> <p>予定したスケジュールから若干遅れているが、内部査読までを本年度中に実施できる予定にあり、概ね本年度計画していた内容を実施できる見込みにある。次年度は熱環境運営委員会外部査読を受ける予定である。また、刊行とあわせて講習会を開催する予定である。</p>

●総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。

●中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。

A評価:小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度

B評価:小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度

C評価:小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度

D評価:小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度

●小委員会の活動に対し、第三者の評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。

●提出対象年:設置期間4年の場合は、2年目「中間年度評価」、4年目「最終年度評価」(1年目・3年目不要)

設置期間3年の場合は、2年目「中間年度評価」、3年目「最終年度評価」(1年目不要)

設置期間2年の場合は、1年目「中間年度評価」、2年目「最終年度評価」

設置期間1年の場合は、1年目「最終年度評価」